

1 基本情報

事業名称	第29回西区ふれあいまつり				
事業目的	西区内に住む人々や区内で働く人々がこのまつりを通じて、相互の心のふれあいと連帯感を持つことにより、西区への愛着を醸成し、良好な地域社会づくりに寄与する意識を高めることを目的とする。 第29回は、西区の次代を担う子どもたちに、「体験・体感の場の創出」、「時間・空間を共有することで生まれる一体感の醸成」ができるふれあいまつりをめざす。また地域活動のすそ野を広げ、西区14校区の更なる結びつきの強化につなげる。				
事業概要	交流の場として西区全校区（14校区）による模擬店やフリーマーケットのほか、子ども向けの体験コーナーや各校区の地域活動紹介コーナーを実施する。 また、ウェスティホールでは区内学校園の子どもたちによる発表の場やキャラクターショーなど体験・体感の場を創出する。				
実施主体	西区ふれあいまつり実行委員会	実施場所	堺市西区役所・西文化会館1階、2階、3階	実施時期	令和7年11月8日（土曜）

2 設定指標

活動指標	来場者数	R4	R5	R6	R7	
		目標			20,000名	20,000名
		実績	16,570名	20,000名	21,900名	20,400名
成果指標	来場者へ実施したアンケートの満足度（「西区への愛着が深まった」人の割合） ※R6まではイベント全体の感想で「よかった」と回答した来場者の割合	R4	R5	R6	R7	
		目標			90.0%	90.0%
		実績	85.0%	92.9%	89.6%	95.3%

3 事業評価

決算額 5,100,000 円

①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	◎	評価基準
西区全校区の住民がふれあう交流の場、また日頃の活動の成果発表の場として大きな役割を担っている。また、次代を担う若い世代に地域活動について知ってもらうことで、地域活動のすそ野を広げる役割も担っており、地域コミュニティの維持・活性化の観点から必要性が高い。		企画段階から事業実施まで、多くの区民と協働で事業を実施しており、行政の関与はコスト面、運営面の支援等で必要最小限に抑えている。また、キャラクターショーの事前応募や来場者アンケートにおいて、電子申請システムを活用することで、名簿の管理やアンケート結果の集計など、効率的に実施できた。		今年度も子ども向けの内容で開催したこともあり、多くの子育て世帯に来場いただいた。来場者数は延べ約20,400人で、「イベントに参加して西区への愛着が深まった」と回答いただいた来場者が95.3%となるなど、地域への愛着醸成につながった。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	◎	④区の計画への寄与度	◎	企画段階から区民が積極的に参画しており、当日も約250名の区民の方が運営にあたり来場者と交流するなど、区民が相互にふれあい、区民としての意識の高揚を図る世代間交流の場となった。		
西区全校区の自治会と西区役所で組織される実行委員会において、事業を企画、運営している。模擬店、子ども向けコーナー、各校区の自治会活動紹介コーナーなど、各催しには自治会を中心に多くの区民が参画しており、行政は事務局として運営面で支援するなど、区民と行政が協働で実施している。		全校区の自治会や多数の区民が企画・運営に参画することで地域ネットワークの強化を実現した。また、来場者アンケートで95.3%の方が「西区への愛着が深まった」と回答するなど、地域への愛着の醸成が図られた。このことから、西区みらい指針の「まちの資源をつないで活かす」に寄与している。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	区役所を使用したイベントのためスペースや設備に限りがある。アンケートでも混雑で大変だったとの意見もあった。	今後の方向性	継続
対応方針	参加者の動きに合わせた配置やイベント実施を行うことで、混雑具合の平準化を行う。また、会場の増設も視野に入れつつ、より満足度の高い事業となるよう改善を行う。		